

正誤表を下記のとおり差し替えます。

令和6年10月30日

〔差替前〕

大学入学共通試験への教科「情報」追加の経緯に関する考察—2010 年代初頭以降の動向に着目して— 第 34 号 52-59 頁	
(誤)	(正)
p.52 要旨 学術研究団体は,国立大学が情報を含む 6 教科 8 科目の方針を公表し多くの大学がそれに従った予告がなされた後も,試作問題作成や高校教員に対する研修（後略）	学術研究団体は, 国立大学協会が情報を含む 6 教科 8 科目の方針を公表し多くの大学がそれに従った予告がなされた後も,高校教員に対する研修（後略）
p.52 左段 教科「情報」は,戦後初の教科新設として 2003 年度に設置されたが（後略）	教科「情報」は 2003 年度に設置されたが（後略）
p.53 左段 情報入試実現のための組織として情報入試研究会が結成された	情報入試の問題試作と公開などを活動内容とする情報入試研究会が結成された
p.53 右段 5 月の第 8 回教育課程特別部会（後略）	5 月の第 8 回教育課程企画特別部会（後略）
p.53 右段 教育課程企画室長の大杉住子は（中略）と発言しており, 明言されていないが「有識者」として先の学術研究団体の存在を窺わせている。	なお, 教育課程企画室長の大杉住子は（中略）と発言している。
p.53 右段 10 月には前回の改定時とは異なり,情報 WG という独立した検討体が設置されており,主査及び主査代理は共に情報処理学会員の大学教員が務めていた。	10 月には前回の改定時とは異なり,情報 WG という独立した検討体が設置されることとなった。
p.54 右段 これは（中略）などを目的とした事業であり, 換言すれば, 文科省が「最終報告」を踏まえ, 情報入試の導入を具体的に検討し始めたというものである。	これは個別大学の入学者選抜に関し,（中略）などを目的とした事業である。
p.55 右段 2018 年 7 月には,センターが情報処理学会に対して（後略）	2018 年 7 月には,センターが情報処理学会などの情報関連学会及び高等学校に対して（後略）
p.56 左段 おそらく問題作成に関わっていた同学会は当然のように肯定的な反応を示している。	同学会は当然のように肯定的な反応を示している。
p.57 右段 しかし, これまでの経緯や, 問題作成や実施体制まで同学会が引き受けていることに大きな違いがあり（中略）研修機会の提供など精力的な動きをみせている。	しかし, これまでの経緯や, 試作問題作成や実施体制まで同学会が間接的にも関わってきたことに大きな違いがあり（中略）研修機会の提供など精力的な動きをみせている。

〔差替後〕

大学入学共通試験への教科「情報」追加の経緯に関する考察—2010 年代初頭以降の動向に着目して— 第 34 号 52-59 頁	
(誤)	(正)
p.52 要旨 学術研究団体は,国立大学が情報を含む 6 教科 8 科目の方針を公表し多くの大学がそれに従った予告がなされた後も,試作問題作成や高校教員に対する研修(後略)	学術研究団体は, 国立大学協会が情報を含む 6 教科 8 科目の方針を公表し多くの大学がそれに従った予告がなされた後も,高校教員に対する研修(後略)
p.52 左段 教科「情報」は,戦後初の教科新設として 2003 年度に設置されたが(後略)	教科「情報」は 2003 年度に設置されたが(後略)
p.53 左段 情報入試実現のための組織として情報入試研究会が結成された	情報入試の問題試作と公開などを活動内容とする情報入試研究会が結成された
p.53 右段 5 月の第 8 回教育課程特別部会(後略)	5 月の第 8 回教育課程企画特別部会(後略)
p.53 右段 教育課程企画室長の大杉住子は(中略)と発言しており,明言されていないが「有識者」として先の学術研究団体の存在を窺わせている。	なお、教育課程企画室長の大杉住子は(中略)と発言している。
p.53 右段 10 月には前回の改定時とは異なり,情報 WG という独立した検討体が設置されており,主査及び主査代理は共に情報処理学会員の大学教員が務めていた。	10 月には前回の改定時とは異なり,情報 WG という独立した検討体が設置されることとなった。
p.54 右段 これは(中略)などを目的とした事業であり,換言すれば,文科省が「最終報告」を踏まえ,情報入試の導入を具体的に検討し始めたというものである。	これは個別大学の入学者選抜に関し,(中略)などを目的とした事業である。
p.55 右段 2018 年 7 月には,センターが情報処理学会に対して(後略)	2018 年 7 月には,センターが情報処理学会などの情報関連学会及び高等学校に対して(後略)
p.56 左段 おそらく問題作成に関わっていた同学会は当然のように肯定的な反応を示している。	同学会は当然のように肯定的な反応を示している。
p.57 右段 しかし,これまでの経緯や,問題作成や実施体制まで同学会が引き受けていることに大きな違いがあり(中略)研修機会の提供など精力的な動きをみせている。	しかし,これまでの経緯に大きな違いがあり(中略)研修機会の提供など精力的な動きをみせている。